

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る「自己評価結果」公表用

別添様式2

公表日：令和4年12月27日

事業所名：ちぬっこスカイ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分なスペースが確保できています。(活動内容に応じて、机、イス、教具を用いている)	多くの保護者様より十分な広さであると評価をいただいています。	現状維持
	2 職員の適切な配置	適切な配置ができています。	一部の保護者様より「専門性がよくわからない」という指摘を受けました。	すべての利用者様に適切に関わり説明ができるよう努めてまいります。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	段差がなく死角のない空間となっています。クールダウン室も設けており、子どもの状態にあった支援ができます。	多くの保護者様より良い評価をいただいています。	現状維持
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	ジアイーノの配置、床暖房、外光を取り入れ易い窓や季節に応じた壁面など、楽しく過ごせる空間作りに努めています。	多くの保護者様より良い評価を頂いています。	一部、活動時のお子様の見学の要望がありました。現在検討中です。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	業務に関して会議等行っています。また、問題点がみつかった場合にもその都度職員全員が周知できるようにしています。		他事業所などの良いところなど、多くの情報を収集しより良いものにしていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価の活用はありません。		必要に応じて、第三者評価も検討します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	義務化されたものやそれ以外の職員向上につながる研修はリタリコを活用しています。		リタリコ以外にも、向上につながる研修は積極的に参加していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者様にアセスメントシートに記入していただき、それをもとに保護者様、職員互いの見た状況から計画策定します。		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	日々の活動の中で、個別・小集団の療育を行いその活動の中で支援が行き届くよう工夫しています。	多くの保護者様より良い評価をいただいています。	計画だけで終わることなく、保護者様との連携を図り十分な理解が得られるよう努めてまいります。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	集団生活や社会生活において、児童の特性を考慮した上で必要な力を身につけられるよう教材や療法士のトレーニングを取り入れている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	定期的に計画を策定し、計画に沿った支援をしています。	多くの保護者様より良い評価をいただいています。	計画に基づいた支援を実施し、保護者様との連携を図りながらより良い支援ができるよう努めてまいります。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	季節行事の活動を行っているが、利用状況や勤務体制の都合により全体参加はできていません。		出来る限り、全職員が参加できるよう努めてまいります。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	幼稚園や小学校等の下校(降園)時間や長期休暇に合わせて柔軟に対応しています。	多くの保護者様より良い評価をいただいています。	今後も柔軟に対応できるよう努めてまいります。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節ごとの行事やイベントを行う以外に、世間の流れや児童の特性に合わせてプログラムを組むようにしています。		状況の変化や児童の特性に合わせて、さまざまな方法を取り入れ支援ができるよう努めてまいります。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、朝礼、終礼を行うが、申し送りが不十分なこともあります。		日々の打ち合わせを徹底して行うようにします。また、1か月程度のスパンで共有できることは、まとめて確認をします。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日、朝礼、終礼を行うが、申し送りが不十分なこともあります。		出来る限り職員間の情報共有、振り返りの場を確保していきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	徹底した記録を行っており、改善等するべき事案についても早急に手を打つようにしています。		今後もこれまでと同じように、徹底した記録をとっていきます。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリング、計画作成を実施し、それに基づいた支援を行っています。		今後も利用者の変化に応じ定期的以外にも臨機応変に対応するよう努めます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	施設長が窓口となり対応しています。		施設長及び児童発達支援管理責任者が対応できるよう体制を整えてまいります。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	※該当しません。		※該当しません。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	※該当しません。		※該当しません。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	茅渟の浦幼稚園、渦が森幼稚園との連携はとれており、情報共有できているが、他の幼稚園とは連携が取れていません。		今後、必要に応じて対応していきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	小学校との連携、情報共有はとれていません。		今後、小学校との保育所等訪問も検討中です。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今現在連携の実績はありません。		今後、必要に応じて連携を図るよう努めます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	他の施設との交流は実施できていませんが、運営が学校法人であり学園児においては学園内で交流しています。	多くの保護者様に良い評価をいただいています。	今後、必要に応じ検討していきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地位住民の招待など実施できていません。		今後、感染症などの状況も考慮しつつ検討します。
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用開始前の支援内容、開始後は連絡帳及び送迎時の口頭にてお伝えしています。	多くの保護者様に良い評価をいただいています。	今後も丁寧な説明を心がけます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画作成のためのモニタリング、作成後の説明を行っています。	多くの保護者様に良い評価をいただいています。	面談等の時間を設け、より丁寧な説明を心がけていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	希望があればペアレントトレーニングを行っています。	多くの保護者様がわからない、またはアドバイスがないという意見をいただきました。	保護者様の意見や要望に寄り添い支援ができるシステム作りに努めます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や電話により対応しています。必要に応じて事業所での面談も実施しています。	多くの保護者様より良い評価をいただいています。	送迎時など、対面での機会を積極的に活かし情報共有に努めます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	ご相談いただいた場合は即座に対応するようにしています。	多くの保護者様より良い評価をいただいています。	今後も丁寧な対応に努めます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今現在、父母の会の活動等実績はありません。	多くの保護者様が「わからないまたはない」という意見をいただいています。中には交流を持ちたいという意見もありました。	保護者様の要望があれば検討したいと思います。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	ご意見をいただいた場合は、すぐに対応させていただきます事業所での会議、記録を適切に行っています。	多くの保護者様が、苦情を言ったことがないのでわからないという意見でした。	今後も適切に対応、苦情が発生しないよう努めてまいります。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	それぞれの特性に応じた声掛けやツールを活用し実施しています。	多くの保護者様より良い評価をいただいています。	今後も特性に寄り添った支援、対応で意思疎通を図っていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	「ちぬっコスカイブログ」等を通じて活動の様子を覗いていただける機会を設けています。	少数の保護者様から「わからない」という意見がありました。	「ちぬっコスカイブログ」の周知をすると共に、より多くの情報が発信できるよう検討中です。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いマニュアルに則り、適正に取り扱いをしています。	多くの保護者様より良い評価をいただいています。	外部、内部問わず、利用者間でもプライバシーに配慮するよう努めます。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを整備し、職員で周知していますが、保護者への周知及び協力いただくものについて不十分な点があります。	半数の保護者様より「わからない、知らない」とご回答いただきました。	マニュアルを見直し、職員、保護者様への周知を徹底します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的な避難訓練を予定していましたが、実施できていません。	半数の保護者様より「わからない、知らない」とご回答いただきました。	非常時に備えた訓練を年2回予定しており、実施前には保護者様に連絡をし安心してご利用いただけるように努めます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止研修を年1回以上行っています。		今後も社会で起こった問題など、必要に応じて研修を実施していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は原則行わないこととしています。やむを得ない場合の措置については保護者様への説明の上同意を得るようにしています。		身体拘束の可能性のある児童の利用がなく、今現在、身体拘束はありません。今後も身体拘束をしないでいような支援に努めます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーについては利用開始時に保護者様の聞き取りで確認をしています。		必要に応じて指示書の提出をしていただき、おやつなどの提供に注意をはらっていきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事象においては、報告書を作成の上、すぐに職員間での周知を行っています。		今後とも、再発防止のため、適切な記録、分析、対応に努めます。